

# 福山市のasana事例

## — 課長は居ない、仕事は進む —

福山市 デジタル化推進課  
藤井 寛

# 福山市 登壇者 紹介



企画財政局  
企画政策部  
デジタル化推進課 課長

ふじい ひろし

藤井 寛

- 新しい技術・サービスの市内実証・実装や中小企業や地域コミュニティのデジタル化を支援するための庁内の調整を担う
- 中小企業の窓口となる経済部や自治会・町内会の窓口となるまちづくり推進部など、常に庁内の関係課とのやり取りを必要とする
- 現在、asanaを使って課内の様々な相談を一括処理する方法を試し、成功事例づくりをめざしている



総務局  
総務部  
ICT推進課 課長

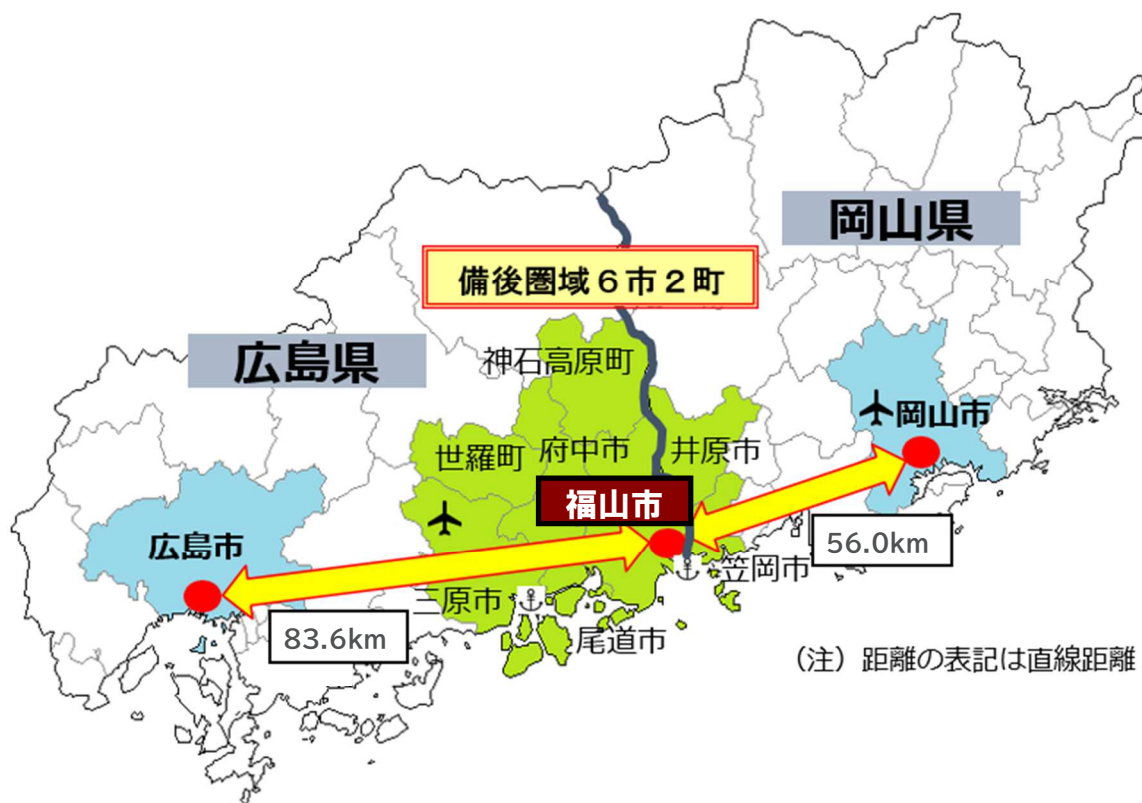
きたむら ひでき

喜多村 秀樹

- 市役所の手続や窓口サービス、公共施設の予約などのデジタル化のための庁内調整をはじめ、職員のICT環境整備をハード・ソフト面で担う
- 市民窓口や公共施設を管理する担当課など、常に市のサービスのデジタル化の関係課とのやり取りを必要とする
- 現在、asanaの環境整備と庁内推進をリードし、全庁的なasana活用の底上げをめざしている

# 福山市の紹介

- 広島県東部に位置。瀬戸内海に面し、雨も雪も少なく、晴れの日が多い温暖な気候
- 広島県東部と岡山県西部の6市2町からなる86万人の備後圏域の拠点



# 福山市のプロジェクトマネジメント推進とasana利用

- 2021年度から外部人材「CDOチーム」の力を借りながら全庁でPM(プロジェクトマネジメント)を推進
- 実践のツールとして2022年度からasanaを利用
- 2023年度中に1,300人の職員に利用を拡大する予定

		対象	2021年度	2022年度	2023年度
理論	全職員 約4,000人	マインドセット研修		プロマネ基本研修 (全職員/動画: 30分)	
	局部長		上位管理職のためのプロマネ研修 (50人/講義: 60分)	ポートフォリオマネジメント研修 (50人/講義: 60分)	
	課長		プロジェクトマネージャ研修 (650人/講義: 6時間)	プログラムマネジメント研修 (150人/講義: 6時間)	
	次長			プロジェクトマネージャ専門研修 (500人/講義: 6時間×3日)	
	デジタル化 推進員		業務改善研修 (200人/講義/ワークショップ)	業務改善研修 中堅職員のためのプロマネ研修	
実践	プロジェクト管理ツールの活用		トライアル (60ライセンス)	全庁運用開始 (700ライセンス)	拡大 (1,300ライセンス)

## 福山市のプロジェクトマネジメント推進の歩み



## PM(プロジェクトマネジメント)定着チームが布教活動を開始

- ICT推進課がasana利用のハード面と運用ルールなどソフト面の整備
- 庁内で「**asana全庁定着チーム**」を結成
- ICT推進課が推進チームをリードし、**PMの推進やasanaの基本的な使い方を支援**



プロジェクトマネジメント定着チーム

## デジタル化推進課でのasanaの活用は？

- まずは庁内共通の使い方を課内で徹底
- さらに、課内で色々と試しながら業務改善にチャレンジ
- 市役所の事務仕事を、asana上でうまく表現したい

ICT推進課

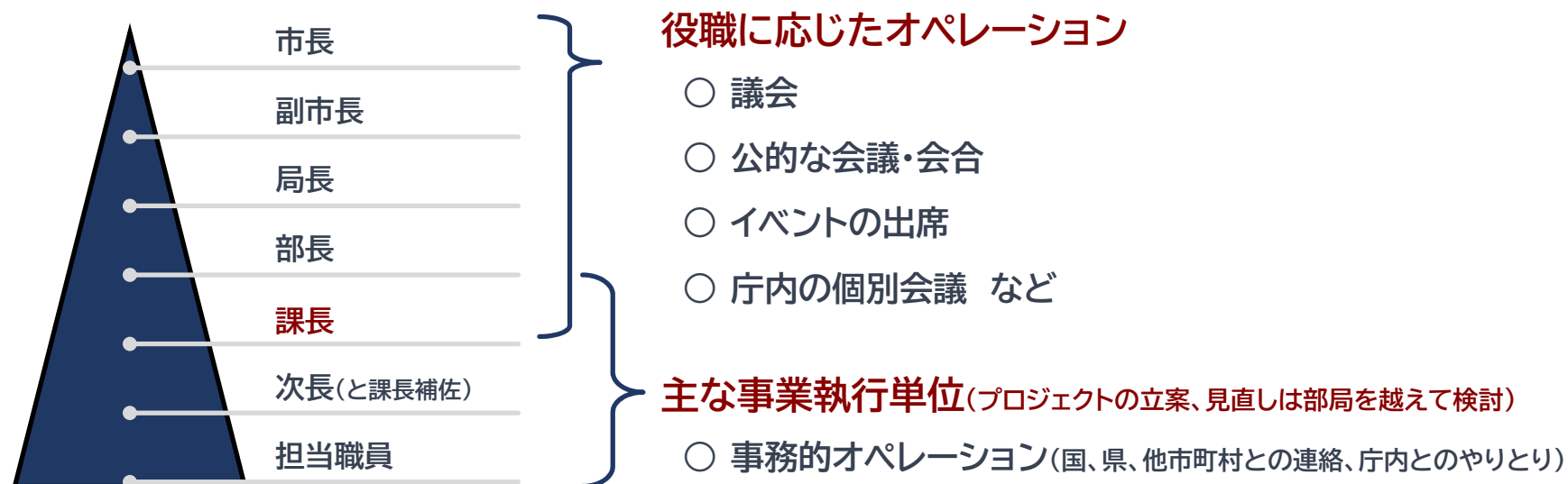
全庁共通の利用を底上げ

デジタル化推進課

+  $\alpha$ の使い方を試して  
事例をフィードバック

## 市役所の構造と仕事の性質(デジタル化推進課長目線)

- 役職の階層が深く、業務のラインでの情報共有と意思決定が大変
- 幹部は拘束される固定オペレーションが多い(議会、公的な会議やイベントの出席、庁内の会議など)
- 「課」が事業執行の単位であり、現場の状況変化への対応も必要
- 市(機関)の役割と現場対応で、情報が上下から集まる課長職のコミュニケーションが重要





## 課長職がボトルネックにならないための工夫

- 漏れが無いよう、課長に「情報共有(報告)」と「相談」し、「判断」したい
- 課長が拘束されていても、職員からの相談や意思決定が進む仕組みをつくりたい



- 庁内のasana活用の動きを利用しない手はない
- しかし、課内で30以上あるプロジェクトでメンションを入れられても対応が困難  
(事業プロジェクトで20弱、定型オペ用で10弱、事業の立案検討や情報共有で10弱)
- 「asana初心者あるある」のプロジェクト迷子、タスク迷子、メッセージ溺死を防ぎたい



- 「課内相談プロジェクト」を運用開始(2023年2月頃～)

# 課内相談プロジェクトとは

○ 課内の全相談・確認のタスクを1プロジェクトから参照する「ボード」を運用



デジタル相談・連絡用 ☆ ○ ステータスを設定

概要 リスト **ボード** タイムライン カレンダー ワークフロー ダッシュボード メッセージ ファイル +

+ タスクを追加 フィルター ソート: 1 × 非表示

担当 + ... A次長 + ... B次長 + ... 課長 + ...

タスク名 10月17日 7回 4件

タスク名 9月26日 1回 2件 1件

サブタスク名 10月19日 5回 1件

タスク名 9月5日 - 10月20日 16回 17件

タスク名 10月17日 - 20日 3回 4件

タスク名 8月28日 - 10月13日 2回 3件

タスク名 10月20日 - 23日 1回 2件

タスク名 10月10日 - 20日 6回 2件

タスク名 火曜日 2回 1件

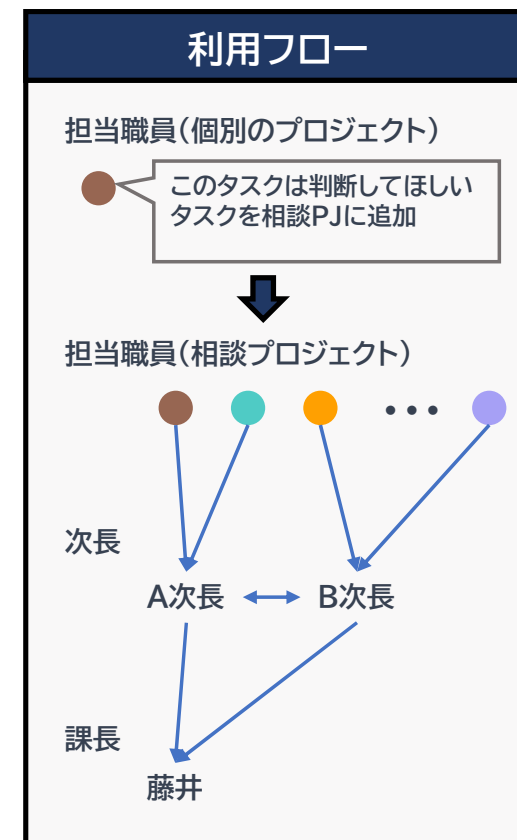
タスク名 明日 12回 4件

タスク名 明日 3回 4件

タスク名 水曜日 4回 1件

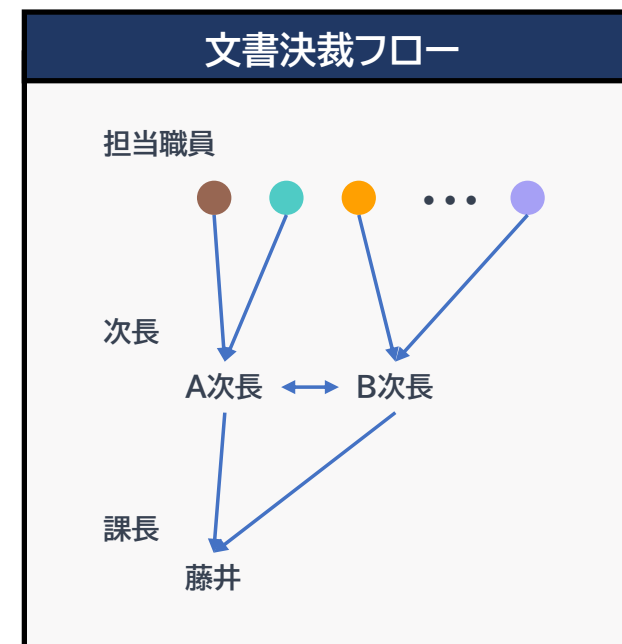
タスク名 明日 2回 1件

+ タスクを追加 + タスクを追加



## 相談プロジェクトのメリット(課内職員共通)

- 決裁事務と近いやり方なので、**職員にとって直感的な操作で分かりやすい**
- 全庁共通の使い方に多少の運用を加えただけなので、**新しく異動してくる職員にも分かりやすい**
- 相談が明示的かつ非同期のコミュニケーションであるため、**相談する際の場所・時間依存が減った(asanaの本領発揮)**
- 実際、課内でも好評
  - 特段新しく覚える作業がない(ボード操作くらい)
  - ちょっとした協議が減った(asana上で非同期)



## 相談プロジェクトのメリット(担当職員視点)






- 相談プロジェクトにタスクを追加すると、**自動で「課長確認」**のサブタスクが追加され、「課長」が担当者になる
- 相談**完了が明示的**(完了の確認だけなら会話ログ等を追う必要なし)
- 相談のボールを誰に投げているか明示的
- 担当者は、自分のプロジェクトから状況が把握できる(相談プロジェクトは、相談される側が見ればいい)
- タスクの担当者を固定しているなので、作業時間の計測など、担当職員の労務時間管理もできる

タスク名称

担当者  担当者名 ×









期日  9月 5日 - 10月 20日 ×

プロジェクト +

-  関係タスク集約用のプロジェクト名 ▼ ×
-  参照元のプロジェクト名 ▼ × セクション名 ▼ ×
-  **デジ内相談・連絡用 課長** ▼ ×  担当者の先輩PJ ▼ ×
-  担当者PJ ▼ ×

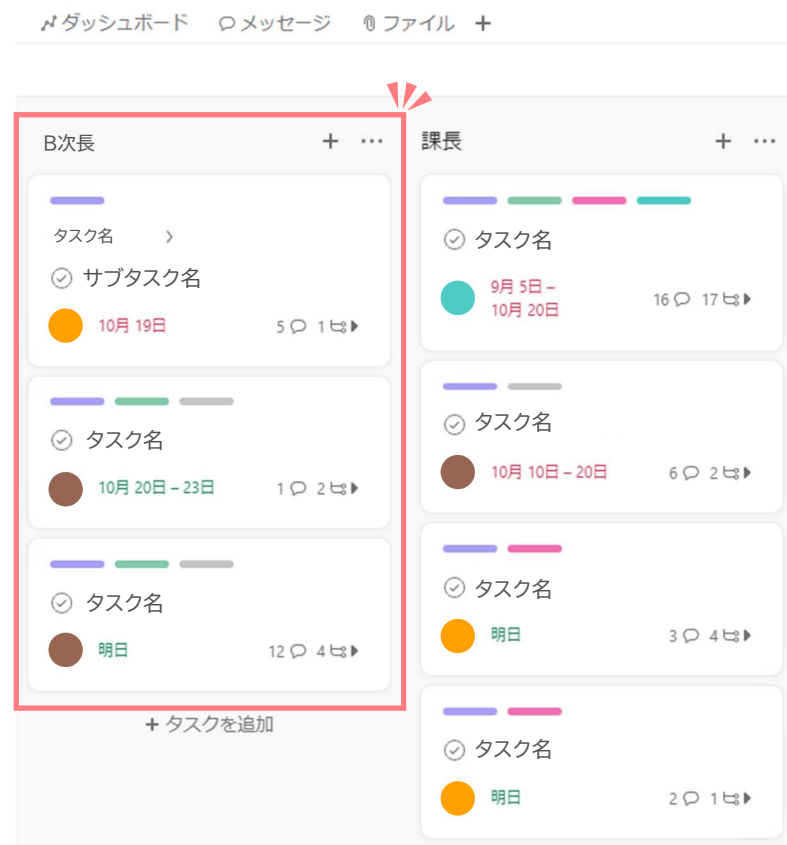
依存関係 +

フィールド

-  推定時間 推定時間を追加
-  実際の時間 1時間 25分 ▼  タイマーを開始
-  優先度 -
-  タスクの進捗 -
-  作業日 **today**
-  作業者 -
-  # 今日の作業時間 -

## 相談プロジェクトのメリット(次長・課長視点)

- 自分が対応すべき**相談を一望できる**(メンション・メッセージだけだと、反応する際にお見合いになることがある)
- 担当職員に**やり直しを求める場合も明示的**(セクションを担当にすることで、相談の戻し先を指定)
- 関係するプロジェクトが増えても、**一旦ここに課内の相談が集まってくるという安心感**がある(プロジェクト迷子、タスク迷子のリスク低減)



## 相談プロジェクトのデメリット(課長視点)

- マイタスクが課長確認で埋まって**実タスクが分かりにくい**(今の運用では、asanaの売り機能の1つを活かしきれない)
- 相談が課長に到達する前に期限切れになると、課長確認のサブタスクも期限切れになり、**知らない間に期限切れ常習犯ブラックリスト入り**



- ✓ **関西コミュニティの方々に良いアイデアを伺いたい**



マイタスク ▾  
リスト ボード カレンダー ファイル

+ タスクを追加 ▾

タスク名	期日
▼ 最近の割り当て	
● 課長確認 < プロジェクト名A	
● 課長確認 < プロジェクト名B	明日
● 課長確認 < プロジェクト名C	火曜日
● 実タスク 1 ☞	10月 20日
● 課長確認 < プロジェクト名D	11月 1日
● 実タスク 3 ☞	金曜日
● 実タスク 3 ☞	金曜日
● 実タスク 3 ☞	金曜日
● 課長相談 < プロジェクト名E	水曜日
● 課長確認 < プロジェクト名F	10月 20日
● 課長確認 < プロジェクト名A	10月 17日

## 実際成果は出てるか？

- 昨年度と今年度の上半期を比較すると、**去年より業務は増えたが平均残業時間は減少**
- 課長職の対応力で道具の成果は更に後からついてくると思われる

	2022年度 上半期	2023年度 上半期
職員数 (※残業評価対象者)	7人	8人(+1)
asana環境	課内にライセンス配布済 相談プロジェクト <b>運用前</b>	相談プロジェクト <b>運用後</b>
その他の業務環境	次長1体制	次長2人体制 新規PJ立案などの業務増
1人当たりの 月平均残業時間		<b>△3.9時間 (14.5%の減少)</b>

## まとめ～上司が〇〇で困っていませんか～

### ○上司が「不在で」進まない

- ▶ 上司に渡す相談を「**ボード**」で明示的にしてみる
- ▶ 上司というボトルネックが可視化され、プレッシャーをかけられる
- ▶ 非同期で進む相談とそうでない相談に分離できる

### ○上司が「asanaを見てくれないので」進まない

- ▶ プロジェクトやタスクが多すぎて迷子になっていませんか？
- ▶ メンションが多すぎて受信トレイで溺れていませんか？
- ▶ まずは1つのプロジェクトだけ見ればいように「**ボード**」で明示的にしてみる

 **ボードはともだち こわくないよ！！**



## おまけ:甲子園で会いましょう

- 福山市はPMの推進とasana導入で「Digi田甲子園2023」にエントリー
- 1月、福山市が甲子園のマウンドに立つ(はず)



※Digi田甲子園公式ページより抜粋

スケジュール  
(予定)

01.応募  
令和5年8月30日～10月22日

02.選考【予選】  
令和5年10月中旬～11月上旬

03.選考【本選】  
令和6年1月中旬～2月中旬

04.表彰  
令和6年3月頃

※時期的には春のセンバツです